

「太陽の瞳」が農協公認曲に

阿部卓馬さんのニューシングル

【新ひだか】三石本町在住のシンガーソングライター・阿部卓馬さんが、3月11日にニューシングル「太陽の瞳」をリリースする。町特産のミニトマトを題材にした歌で、しずない農協から公認を受けた異色作だ。



「太陽の瞳は、しずない農協静内ミニトマト部会イオン静内店のインストアライブで「太陽の瞳」を披露する阿部さん（左）

【新ひだか】三石本町在住のシンガーソングライター・阿部卓馬さんが、3月11日にニューシングル「太陽の瞳」をリリースする。町特産のミニトマトを題材にした歌で、しずない農協から公認を受けた異色作だ。

「太陽の瞳」はイオン静内店のCDショップや道内各地の音楽店で販売される。カップリングには国道235号（優駿浪漫街道）をテーマにした「巨高の路」が入る。

阿部さんは3月3日午後6時半から浦河町総合文化会館で開かれる「舞踊・歌謡親睦会チャリティショー」（音羽流浦河菊袖会主催）にも出演する。

一つとして定着している。昨年8月に「野に咲く花として」をリリースした後、所属する札幌市の芸能事務所フロムサウンズの未来本桃子社長の後押しもあって「太陽の瞳」のCD化が決まり、弾き語りから「何回聴いてもあきない、楽しくなるような」アレンジを加えた。

1月には静内ミニトマト部会の中道雅則部会長と会い、歌の趣旨や自身の思いを説明して公認を

が生産するミニトマトのブランド名で、静内地区で生産する野菜類の主力品目。平成28年の販売金額は8億6155万円

で、全国各地で高い評価を受けている。

阿部さんは静内東別のミニトマト農園で働きながら、道内を中心にライブ活動を展開。22年に生産者の視点も織り交ぜながら「太陽の瞳」を作詞作曲。明るいメロディーと分かりやすい歌詞でライブでは人気曲の

受けることになった。26日にはイオン静内店のインストアライブで

「太陽の瞳」を披露。札幌の高校生アイドルグループ「チャチャガールズ」がバックダンサーを務めてライブを盛り上げた。ライブ後、阿部さんは「楽しかった。いつも一人でやってきたのでチャチャガールズがいると心強い」とし、「これまででは非公認だった

が、これからは公認曲として、ミニトマトのPR活動にも貢献したい。生産する。